学校番号	１０８

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	Ｗ－ＵＰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎日８：３０～８：４０の短時間、学級の全員が揃って集中して学習に取り組むことで、本校がめざす目標の一つである「学ぶ楽しさ、わかる喜び」を日々実感しながら、生活習慣と学習習慣を身に付けてもらいたいと考えています。
学習の内容は、各教科の基礎的・基本的な内容をはじめとして、教科横断的な内容、及び既存教科に属さない内容まで様々です。

２　学習の到達目標

各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせ、各自の進路実現のために必要な資質・能力を次の通り育成することをめざす。

（１）　高校での学習の基盤となる各教科の基礎的・基本的な知識について理解するとともに、正しい生活習慣・学習習慣によってより良く学力を高める技能を身に付ける。
（２）　自己実現のための学習上の課題を発見し、教科等の特性に応じた学習方法を工夫したり、生活習慣の改善を行うことができる力を養う。
（３）　自らの生活習慣・学習習慣を確立し、自己実現を叶えるため、知識・技能の習得や課題の解決に主体的・積極的に取り組む力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	高校での学習の基盤となる各教科の基礎的・基本的な知識及び技能や、生活習慣・学習習慣の形成に必要な知識及び技能を身に付けている。	自己実現のための学習上の課題を発見し、教科等の特性に応じた学習方法の工夫や生活習慣の改善方法について考察し実践している。	自らの生活習慣・学習習慣の確立のため、知識・技能の習得や課題の解決に積極的に取り組み、主体的に自己実現を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に３段階の文章表記による評価を行います。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活習慣・学習習慣の確認①	アンケートやワークシートを用いて、中学生までの振り返りと高校生としての規則正しい生活習慣を学ぶ。 学習計画を作成する。	a:【知】生活習慣・学習習慣と学力・自己実現との関わりについて理解している。 【技】実現可能で効果的な学習計画を設定することができる。 b:自らの生活習慣・学習習慣をどのように改善していくかについて考察し、実践している。 c:生活習慣・学習習慣と学力・自己実現との関わりについて関心を持ち、主体的に課題解決に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
	基礎学力の養成①	プリント学習や小テストを実施し、各教科の学力の定着度合いを確認し、また国語、英語を中心に実力に応じた学力の定着を図る。	a:【知】文法や公式など、各教科の基礎的な知識を理解している。 【技】各教科の基礎的な問題を着実に解答していくことができる。 b:自らの得意・不得意分野について把握し、どのように強化・克服していくかについて考察し、実践している。 c:各教科の基礎学力を身につけることについて意欲を持ち、主体的に学力の定着に取り組もうとしている。	学習プリント小テスト 学習プリント小テスト	ワークシート小テスト	観察 ワークシート
	進路目標の設定①	高校卒業後の進路についてワークシートを用いて学習し、次年度の科目選択と学習内容について計画する。	a:【知】各種大学・専門学校等の学習内容や進学に必要な科目の履修条件などを大まかに理解している。 【技】自らの進路実現に必要な科目選択を行うことができる。 b:自らの趣味嗜好や学習状況について把握し、どのような進路をめざすか考察している。 c:自らの進路実現について意欲を持ち、主体的に進路選択や情報収集に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート

	夏期休業へ向けて	ワークシートを用いて、1学期の振り返りと、夏期休業中の学習計画を作成する。	a:【知】自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて理解している。 【技】実現可能で効果的な夏期休業中の学習計画を設定することができる。 b:夏期休業中にどのように生活習慣・学習習慣を身につけていくかについて考察している。 c: 自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて関心を持ち、主体的に夏期休業中の学習課題解決に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
2学期	生活習慣・学習習慣の確認②	ワークシートや小テストを用いて、夏期休業中の生活・学習状況を振り返り、生活習慣・学習習慣の定着度や学習の到達度を確かめる。	a:【知】自らの生活習慣・学習習慣の定着度について理解している。 【技】自らの生活・学習状況を客観的に振り返ることができる。 b:夏期休業中にどのように生活習慣・学習習慣や学力が身についたかについて考察し、今後の学習を計画している。 c: 自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて関心を持ち、主体的に２学期の学習課題解決に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
	基礎学力の養成②	プリント学習や小テストを実施し、国語、数学を中心に実力に応じた学力の定着を図る。	a:【知】文法や公式など、各教科の基礎的な知識を理解している。 【技】各教科の基礎的な問題を着実に解答していくことができる。 b:自らの得意・不得意分野について把握し、どのように強化・克服していくかについて考察し、実践している。 c:各教科の基礎学力を身につけることについて意欲を持ち、主体的に学力の定着に取り組もうとしている。	学習プリント 小テスト 学習プリント 小テスト	ワークシート 小テスト	観察 ワークシート

	進路目標の設定②	高校以降の進路についてワークシートを用いて再度学習する。また、現在の学習状況の再確認と次年度の科目選択と学習計画が適切か再確認する。	a:【知】各種大学・専門学校等の学習内容や進学に必要な科目の履修条件などをより深く理解している。 【技】自らの進路実現に必要な科目選択を行うことができる。 b:自らの趣味嗜好や学習状況について把握し、どのような進路をめざすか考察している。 c:自らの進路実現について意欲を持ち、主体的に進路選択や情報収集に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
	冬期休業へ向けて	ワークシートを用いて、2学期の振り返りと、冬期休業中の学習計画を作成する。	a:【知】自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて理解している。 【技】実現可能で効果的な冬期休業中の学習計画を設定することができる。 b:冬期休業中にどのように生活習慣・学習習慣を身につけていくかについて考察している。 c: 自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて関心を持ち、主体的に冬期休業中の学習課題解決に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
3学期	生活習慣・学習習慣の確認③	ワークシートや小テストを用いて、冬期休業中の生活・学習状況を振り返り、生活習慣・学習習慣の定着度や学習の到達度を確かめる。	a:【知】自らの生活習慣・学習習慣の定着度について理解している。 【技】自らの生活・学習状況を客観的に振り返ることができる。 b:冬期休業中にどのように生活習慣・学習習慣や学力が身についたかについて考察し、今後の学習を計画している。 c: 自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて関心を持ち、主体的に3学期の学習課題解決に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート

	基礎学力の養成③	プリント学習や小テストを実施し、数学、英語を中心に実力に応じた学力の定着を図る。	a:【知】文法や公式など、各教科の基礎的な知識を理解している。 【技】各教科の基礎的な問題を着実に解答していくことができる。 b:自らの得意・不得意分野について把握し、どのように強化・克服していくかについて考察し、実践している。 c:各教科の基礎学力を身につけることについて意欲を持ち、主体的に学力の定着に取り組もうとしている。	学習 プリント 小テスト 学習 プリント 小テスト	ワーク シート 小テスト	観察 ワーク シート
	次年度へ向けて	ワークシートを用いて、1年間の振り返りと、次年度の目標設定を行う。また、それに基づいた春期休業中の学習計画を作成する。	a:【知】自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて理解している。 【技】実現可能で効果的な次年度の学習目標及び春期休業中の学習計画を設定することができる。 b:春期休業中にどのように生活習慣・学習習慣を身につけ、次年度に生かしていくか考察している。 c: 自らの生活習慣・学習習慣の定着度合いについて関心を持ち、主体的に次年度の目標設定と春期休業中の学習課題解決に取り組もうとしている。	ワーク シート ワーク シート	ワーク シート	観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度